

# 2021年度 東海大学大学院 家族看護研究会

カルガリー家族看護アセスメントモデルを用いて  
事例検討を行います



## 事例紹介



既往にパニック発作、てんかん、うつ病のある母が第4子を出産。児は出生直後に声門閉鎖が判明し緊急気管切開術を施行。現在の夫とは再再婚である。今後医療ケアが必要となる児を育てながら新たな家族を形成していく段階においてどのような支援ができるであろうか。

**講師** 新井陽子先生（北里大学生涯発達看護学准教授 助産師）

北里大学病院で助産師として従事。北里大学大学院で産後うつの専門研究を手掛け、北里大学大学院看護学研究科博士後期課程修了後に2011年より北里大学看護学部に着任。周産期メンタルヘルスの諸問題やカルガリー家族看護モデルを軸にした「北里家族看護実践研究会」の活動などで活躍している。

**日時** 2022年3月5日（土）13:00～16:00

**会場** zoomによるオンライン開催

参加ご希望の方は右上のQRコードより  
お申込み下さい

<https://forms.gle/CUzv1Bgob45PqWfL9>  
後日、入室情報をお送り致します。



問い合わせ：0463-93-1121(代表)家族看護学研究室 井上玲子

ホームページ：<http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス：rinoue@is.icc.u-tokai.ac.jp